

第1回 日進市環境まちづくり評価委員会以降の修正箇所になります。

# 1 令和2年度の実施状況

## (1) 全体の実施状況

＜成果指標・進行管理指標の達成状況＞

分野	分野別計画		成果指標			進行管理指標			
			指標数	長期目標達成数		指標数	長期目標達成数		
				H30	R2		H30	R1	R2
水	A	川や池の水と水辺	1	0	0	5	1	1	1
	B	水の風景・水資源	1	0	0	3	0	0	0
緑	C	里山と息づく動植物	1	0	0	4	1	1	1
	D	農のある暮らし	1	0	0	4	1	1	0
	E	緑のネットワーク	1	0	0	3	1	0	0
まち	F	生活環境	1	0	0	6	3	3	3
	G	まちなみ・まちかど	1	0	0	3	0	0	0
	H	みちと足	1	0	0	3	1	1	1
ライフスタイル	I	暮らし全般・エネルギー	1	0	0	5	0	0	1
	J	生活と廃棄物	1	0	0	5	1	2	2
コミュニティ	K	コミュニティ	1	0	0	4	3	2	1
遊びと学び	L	遊びと学び	1	0	0	4	3	3	2
			12	0	0	49	15	14	11
			達成率	0%	0%	達成率	31%	29%	22%

※ 達成率（％）＝（長期目標達成指標数÷指標数合計）×100

・進行管理指標の目標達成率は減少した結果となりましたが、市においてもコロナ禍における工夫した取組が広がりました。その中で、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から当初は中止となった事業がありましたが、実際に市の事業を楽しみにしている市民の声もあることから、講座等を実施する際は感染症対策を徹底した上で、実施できるよう取り組みました。併せて、講座実施後は、ホームページを通じて、市の取組の発信に力を入れました。今後も、コロナ禍においても市の事業の周知や普及啓発が進むよう、動画配信なども検討していくことなどが課題です。

- ・長期目標を達成した指標は、成果指標で0%、進行管理指標で22%となりました。進行管理指標は分野によって数値の増減はありますが、ここ数年、どちらの指標も達成数の増加がみられていないのが現状です。
- ・令和5年度の第2次環境基本計画の策定を見据えて、目標を達成できていない指標や施策について、進捗状況や課題などを検証していく必要があります。

## (2) 指標について＜成果指標と進行管理指標＞

- ・これらの指標はビジョンの達成度を押し量り、状況を具体的に把握するためのツールです。
- ・指標名、基準値、直近の現状値と長期目標値（令和5年度まで）を表しています。
- ・成果指標は、2年ごとに行われる市民意識調査の結果を指標としています。（平成26年度までは3年ごとに実施しており、最新の調査は令和2年度に実施しています。）
- ・進行管理指標は、その年の値を記載しています。
- ・平成25年度の見直しにより、基準値については、成果指標は平成23年度、進行管理指標は平成24年度の値を記載しています。

## B. 水の風景・水資源



この分野は、「水」に関わる要素のうち、水に関する風景、すなわち川、池、水田などの保全および水の資源としての湧水、雨水などを対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	身近で水に親しめる場所があると思う市民の割合	34.5	%	36.0	33.5	未達成	42

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

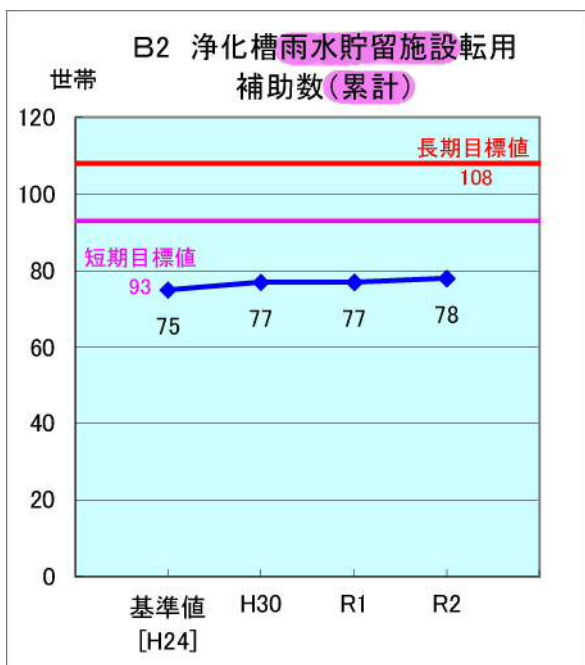
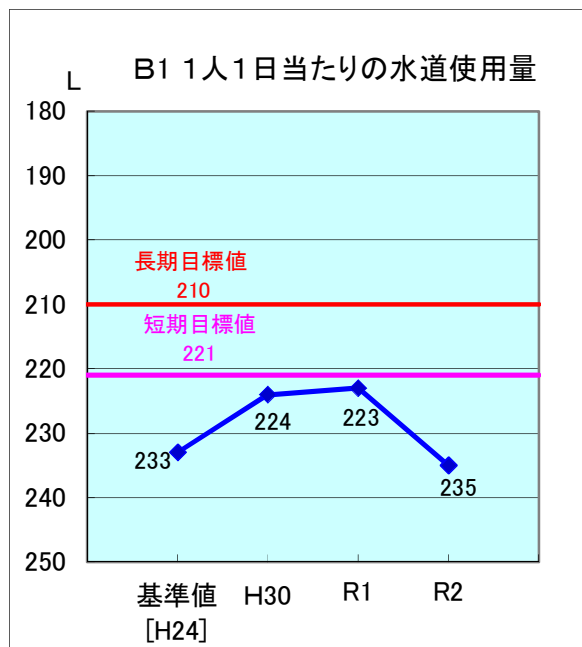
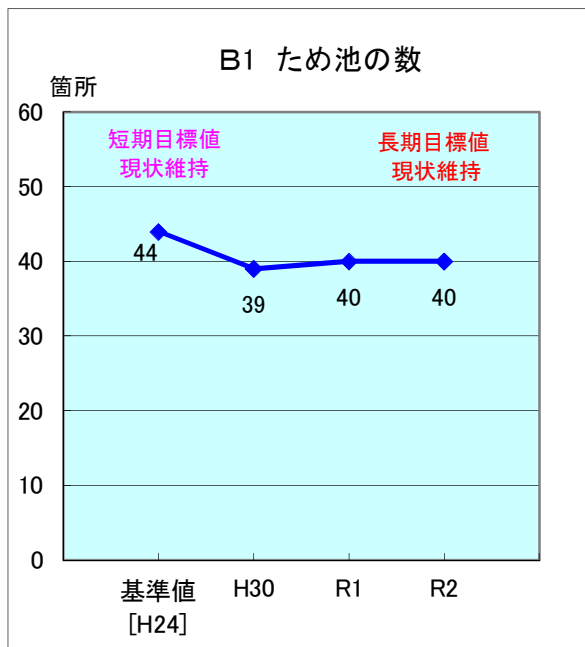
進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
B1	ため池の数	44	箇所	39	40	40	未達成	現状維持
	1人1日当たりの水道使用量	233	L	224	223	235	未達成	210(10%減)
B2	浄化槽雨水貯留施設転用補助数(累計)	75	世帯	77	77	78	未達成	108

### 【令和2年度の結果と今後の展開】

家庭における1人1日当たりの水道使用量は、これまで順調に減少していましたが、ステイホームや在宅勤務など家にいる機会が多かったためか増加傾向でした。

水資源の有効利用のため、浄化槽雨水貯留施設転用のPRを行いました。

貴重な水資源を有効活用するため引き続き、市のホームページや広報、講座、区や自治会への回覧物等を活用して、節水意識の普及啓発に力を入れていきます。



## D. 農のある暮らし

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和2年度実績	所管課	
D-1 農地・農業を 守り育てる	1、開発と保全に関する規制・話し合いの機会をつくる	都市計画法・農業振興地域の整備に関する法律でのゾーニングの整理	継続	・パブリックコメント等による市民の意見を踏まえ、都市マスタープランの改定を行った。[都市計画審議会開催回数:4回、パブリックコメント意見:16名96件]	都市計画課 農政課	
	2、農業経営・生産の安定化を進め、後継者を育てる	農業後継者や新たな担い手の発掘・育成		継続	・専業農家を目指す青年新規就農者の就農支援、営農組合・集落営農組織等の支援及び立上げ支援を行った。日進アグリスクールで新たな担い手を育成した。	農政課
		農地バンク制度等の推進		継続	・広報・HP等と、日進アグリスクール修了生に対して制度を周知した。利用権設定による新規就農は2件。	農政課
		6次産業化の推進		継続	・日進アグリスクールに新たに6次産業体験コースを設置し啓発した。 ・日進市6次産業化支援事業補助金交付要綱を新たに制定した。	農政課
		転作の促進		継続	・県からの需給調整に基づき、適正な水稲作付を行った。 ・転作を行った農家に補助金を支給した。[269戸]	農政課
		農作業の集積・機械化による効率化の支援		継続	・営農の中心的役割を担う農協や農事組合法人が地域農業の効率化等のために導入した農業用機械に対し補助を行った。 ・農協や農事組合法人等による農地の集積について支援をした。	農政課
		特産品の開拓の推進		継続	・農業者と新しい特産品開発のために必要な農地の選定を行った。 ・農業者・福祉団体・商業者等と得意分野を活かしたワンチームによる特産品の検討を行った。 ・もち米を銘柄指定した。(ブランド化)	農政課
	3、休耕田、耕作放棄地の利用を進める	田園フロンティアパークの整備		継続	・市民農園6園の管理運営を行った。 ・梅森台市民農園に法面防草シートを設置した。	農政課
		市、農協などの事業者、農家などが管理する市民農園の拡大		継続	・市及び民間による市民農園を整備した。[新規:0区画、継続:1,231区画]	農政課
		景観形成作物栽培の支援		継続	・農振農用地の田で、景観形成作物(コスモス)を栽培した農家に補助金を支給した。[2戸]	農政課

## G. まちなみ・まちかど



この分野は、「まち」に関わる要素のうち、人々が住む市街地における建物や空間などを一体として考える「まちなみ」や、ちょっとした小空間、個別の建物の状況を意味する「まちかど」を対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	まちなみや道路景観に対する満足度	34.3	%	35.3	37.8	未達成	45

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
G1	市民一人あたりの公園面積	9	m <sup>2</sup>	8.7	8.6	8.5	未達成	10
G2※	事業所数	2,383	件	2,104	2,053	2,057	未達成	2,350
G3	まちなみ保存地区数	0	地区	0	0	0	未達成	2

※これまで記載していた事業所数に含まれる商店数は、市において事業所数の内訳に関する正式な把握ができないことから、項目を削除しました。

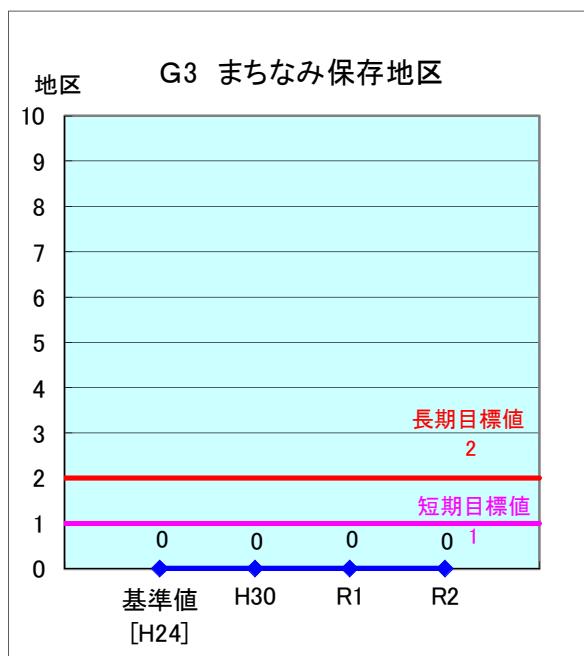
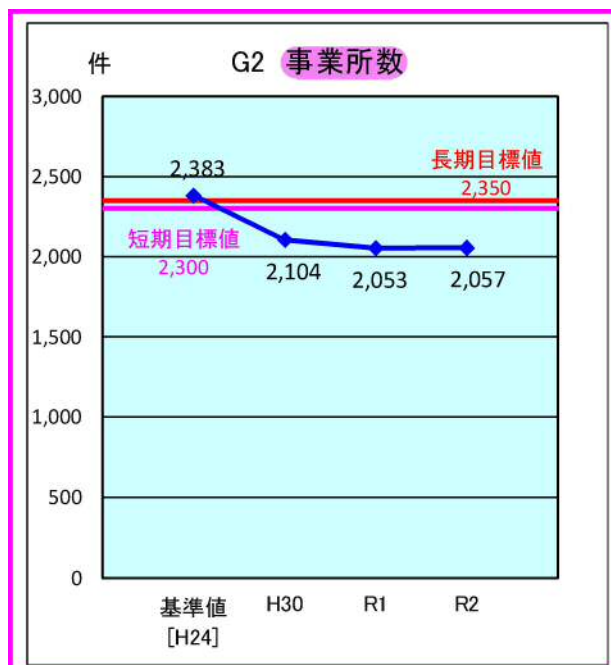
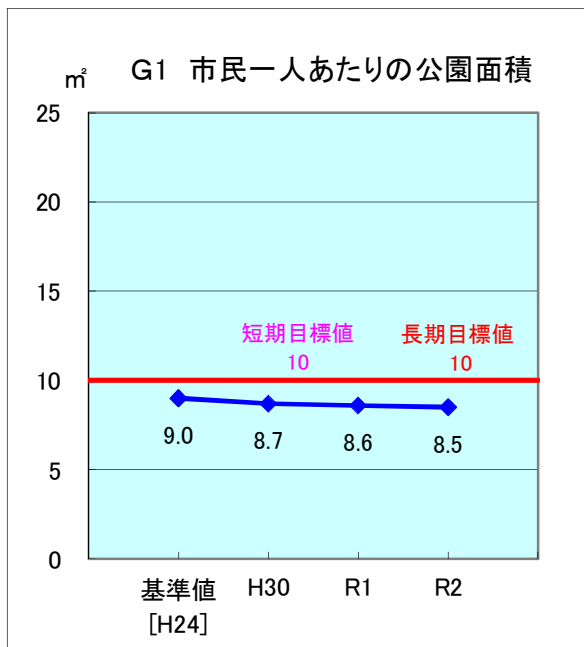
### 【令和2年度の結果と今後の展開】

第6次日進市総合計画の将来都市像の実現に向けた土地利用や都市施設整備の基本的な方針を定めている「都市マスタープラン」について、パブリックコメント等による市民の意見を踏まえ、改定を行いました。今後の展開としては、地域の状況に応じた地区計画を検討し、地域ごとのまちなみの誘導を行っていく予定です。

商業空間の再生と創造を進めるため、小規模企業者事業継続応援金の支給やプレミアム商品券発行事業等市内中小企業者の事業継続のための各種支援に注力しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛期間中に役立つ情報として、新たにテイクアウトできる飲食店情報を発信しました。

今後も、感染症防止対策飲食店舗支援金の支給やプレミアム商品券・食事券発行事業等市内中小企業者の事業継続のための各種支援を実施していきます。



## H. みちと足



この分野は、「まち」に関わる要素のうち、特に道路、歩道、自転車道など人が移動する空間である「みち」と、移動手段を意味する「足」のうち誰でも利用できる公共交通を対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	自転車や徒歩による道路の利便性に対する満足度	21.6	%	22.5	24.2	未達成	33

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
H1	幹線道路の歩道整備率	78.3	%	79.9	79.9	80.4	未達成	85
H2	道路緑化(m <sup>2</sup> )	24,780	m <sup>2</sup>	26,585	26,445	27,504	達成	26,000
H3	くるりんばすの一日あたりの利用者数 (元中央線(名鉄バス)含む)	1,404	人	887 (1,208)	896 (1,227)	630 (864)	未達成	1,600

### 【令和2年度の結果と今後の展開】

前年度に引き続き、歩道の拡張やカラー舗装など、歩行者が安全に移動できる歩道の整備を行いました。今後も道路及び歩道の適切な維持管理に努めるとともに、枯れ木を撤去した植栽スペースや空きスペースに植樹することにより、緑化を維持・推進していきます。

地域の公共交通については、市民の移動ニーズや意見要望を把握するため、地域公共交通アンケート調査を実施しました。このアンケートの結果をふまえ、くるりんばす全線改編に向けた検討を進めていきます。

にしん省エネ倶楽部事業では、市民と市内に通う大学生などが協力して、徒歩や自転車といった地球にやさしい移動手段で市内を巡ることができる、ECO外出マップを作成しました。

本市は、人の移動や物流の手段として自動車に依存する割合が高い地域ですが、環境にやさしい移動手段として、くるりんばすなどの地域公共交通の利用促進につながるイベントの開催や、エコモビリティライフを推進していくため、引き続き周知啓発を行っていきます。

# I.暮らし全般・エネルギー



この分野は、「ライフスタイル」に関わる要素のうち、暮らしに対する根本的な価値観や生き方、エネルギー利用、移動手段など日常生活におけるあらゆる環境配慮に関する行動・行為を対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	環境にやさしいまちづくりに対する満足度	41.9	%	43.6	41.3	未達成	58

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
I1	エコライフ宣言者数	-	人	1,432	1,725	1,803	未達成	3,000
I2	太陽光発電設備設置世帯割合	4	%	8.7	9.1	9.7	未達成	25
I3	市内3駅の乗降客数	37,590	人	46,672	44,748	12月末頃値取得予定	未達成	54,000
I4	市役所環境保全のための <sup>※1</sup> 行動計画達成率	84.1	%	86.7	84.5	80.5	未達成	100
I5	ISO14001取得事業者数 (エコアクション21取得者を含む)	21	社	22	22	29	達成	25

※1 R元年度までの年次報告書はエコモビに特化した配点で表記していましたが、R2年度の年次報告書から配点を見直しました。

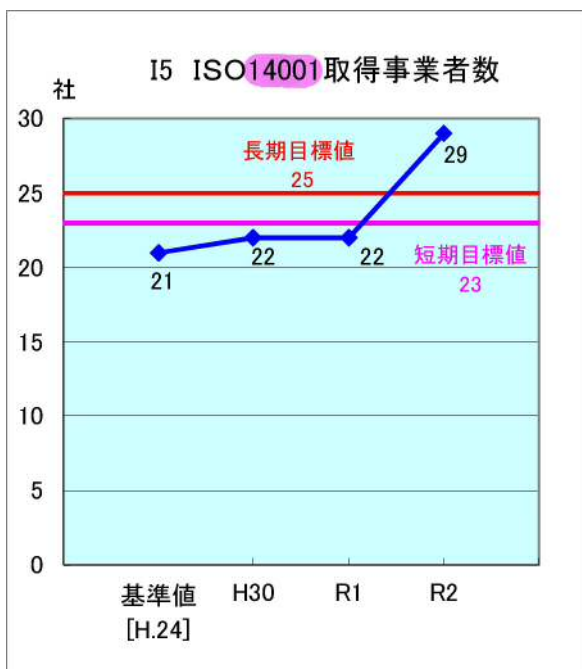
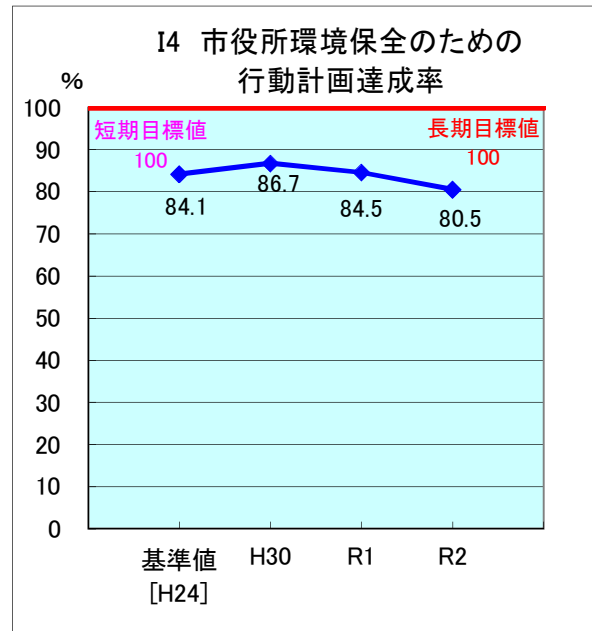
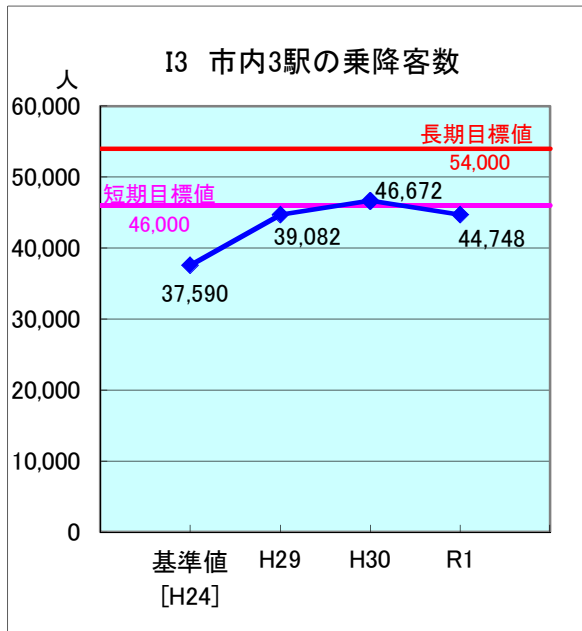
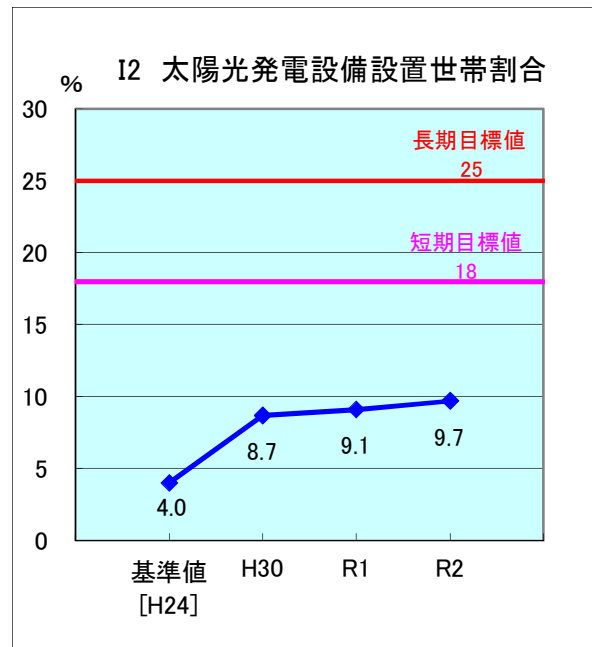
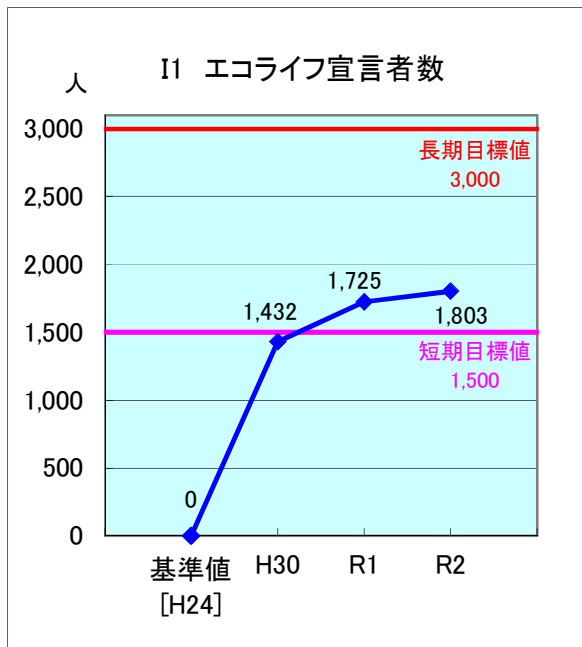
## 【令和2年度の結果と今後の展開】

地球温暖化対策として、広報や区・自治会回覧等でCOOL CHOICE(地球温暖化対策に資するあらゆる賢い選択)の啓発を行うことで、市民の環境への意識向上に努めました。また、各講座において身近にできるSDGsアクションとして省エネ行動を呼びかけるとともに、省エネルギーについて学べる講座を実施しました。

進行管理指標である「市役所環境保全のための行動計画達成率」が年々低下していることから、その原因である職員のエコモビ実施改善にむけた取組を検討していきます。引き続き、暮らしにおける環境保全行動につながるよう工夫した情報発信に努め、地球にやさしい取組であるCOOL CHOICEを推進していきます。

廃棄物や電力使用量の削減など環境問題に対して事業者等が組織的に取り組む場合、環境マネジメントシステムであるISO14001やエコアクション21がありますが、市内の事業者における取得数は増え、環境に配慮した取組が広がっています。





## J. 生活と廃棄物



この分野は、「ライフスタイル」に関わる要素のうち、購買、消費、ごみの排出といった生活と廃棄物に関する行動・行為を対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	ごみ処理等の環境対策に対する満足度	62.7	%	59.0	54.4	未達成	74

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

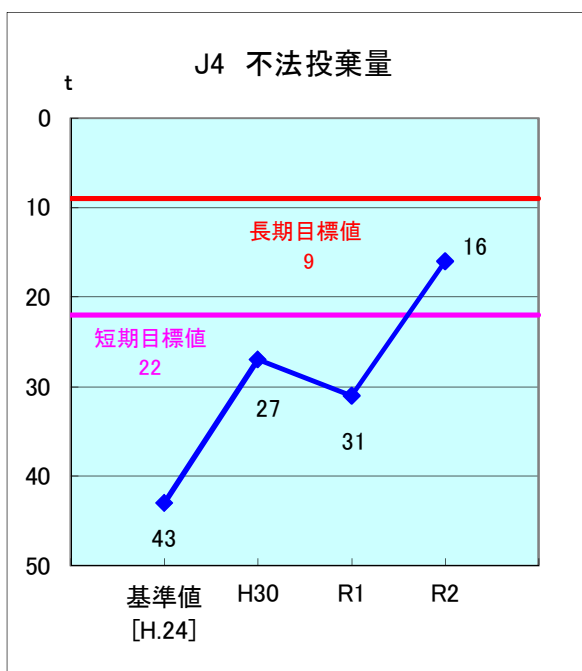
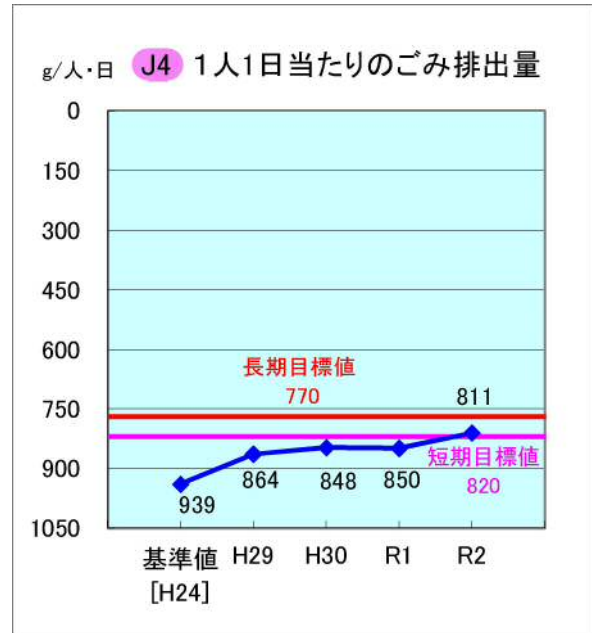
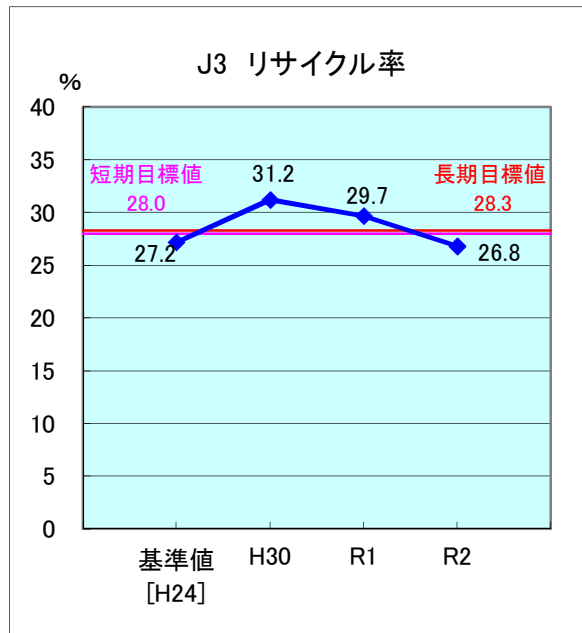
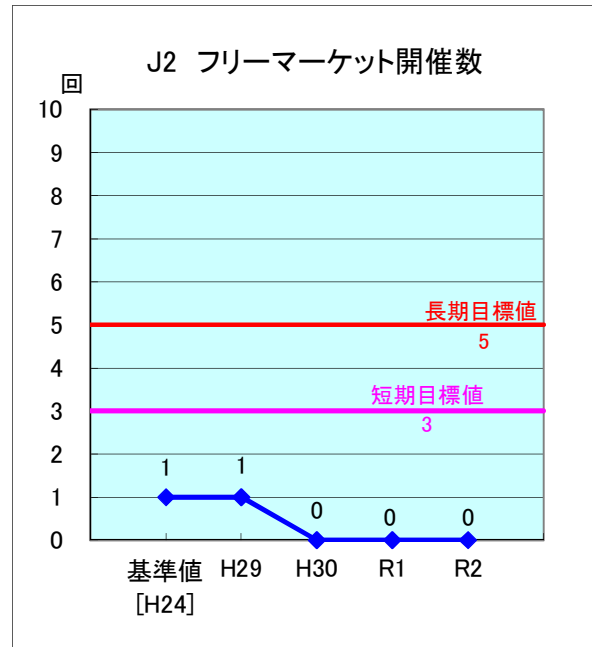
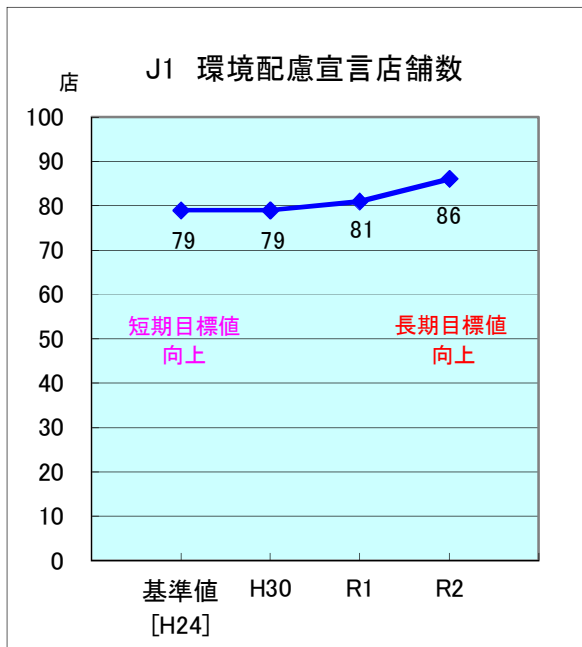
進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
J1	環境配慮宣言店舗数	79	店	79	81	86	達成	向上
J2	フリーマーケット開催数※1	1	回	0	0	0	未達成	5
J3	リサイクル率	27.2	%	31.2	29.66	26.8	未達成	28.3
J4	1人1日当たりのごみ排出量	939	g/ 人・日	848	850	811	未達成	770
	不法投棄量	43	t	27	31	16	未達成	9

※1 市主催の開催数のみ把握しています。

### 【令和2年度の結果と今後の展開】

家庭ごみ&資源の出し方ガイドブックの内容を精査し、より見やすく分かりやすい紙面にすることにより、ごみ・資源の出し方の理解の浸透を図りました。ごみ・資源の出し方についての問い合わせが多くあるため、引き続き丁寧で分かりやすい説明を行っていきます。

令和3年度の日進市一般廃棄物処理基本計画の見直しに先立ち、市民アンケートを実施しました。次年度以降、市民の皆様のごみ処理についてのご意向など、アンケート結果を参考として、ごみの減量化・資源化の方策につながるよう日進市一般廃棄物処理基本計画の見直しを行っていきます。



## K. コミュニティ



この分野は、「コミュニティ」に関わる要素で、近くにくらす人々、環境に関する意識・目的を共有する人々、事業所など様々なつながりを対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	身近な地域活動が活発であると思う市民の割合	32.8	%	36.7	34.4	未達成	43

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
K1	区・自治会加入率	71.1	%	74.1	73.8	73.8	未達成	80
K2	にぎわい交流館の利用者数	35,550	人	42,999	36,140	7,447 <sup>※1</sup>	未達成	41,000
K3	環境パートナーシップ協定締結団体数 (環境まちづくりパートナーシップ制度団体数)	-	団体	-(39)	-(40)	-(50)	達成	20
K4	地域活動参加事業者数	14	事業者	27	27	1	未達成	20

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためランチを中止し、会議室利用制限を設けています。

### 【令和2年度の結果と今後の展開】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、わいわいフェスティバルや地域の交流事業等が相次いで中止となりました。わいわいフェスティバルについては、次年度以降、中止となってしまう場合にオンラインで開催するなど、代替案の検討を行っていく必要があります。

香久山会館の増築について、建設費用の補助を行いました。今後も地域自治組織の拠点である公民館や集会所の整備に対し、補助金を交付し、地域のコミュニティ活動が活性化するよう支援していきます。